

第12回在宅医療・看護を考える会

病院の立場から 訪問リハビリについて

八尾徳洲会総合病院
訪問リハビリテーション事業所
理学療法士 飛地 八省

今年 夏

8月1日移転します

八尾徳洲会総合病院

2009年5月建設中



医療法人 徳洲会

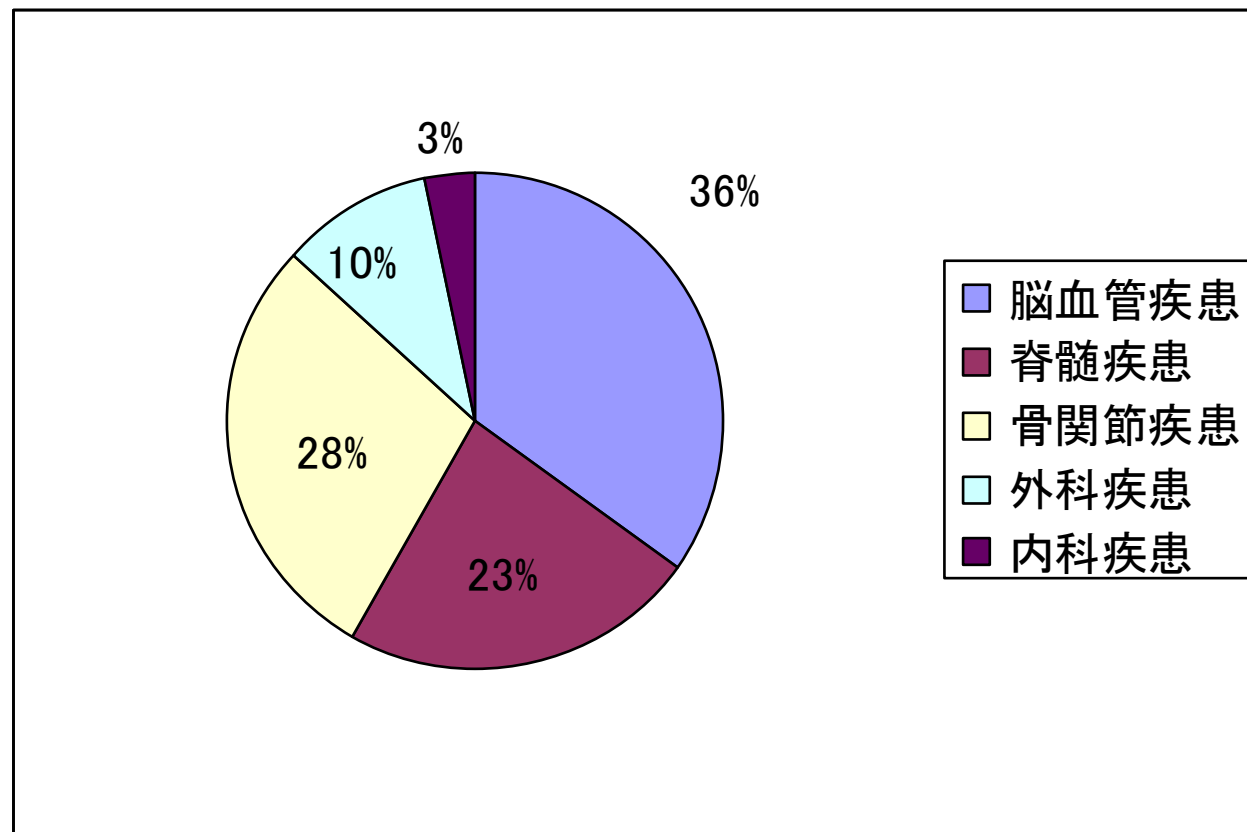
八尾徳洲会総合病院

無断使用および転載禁止

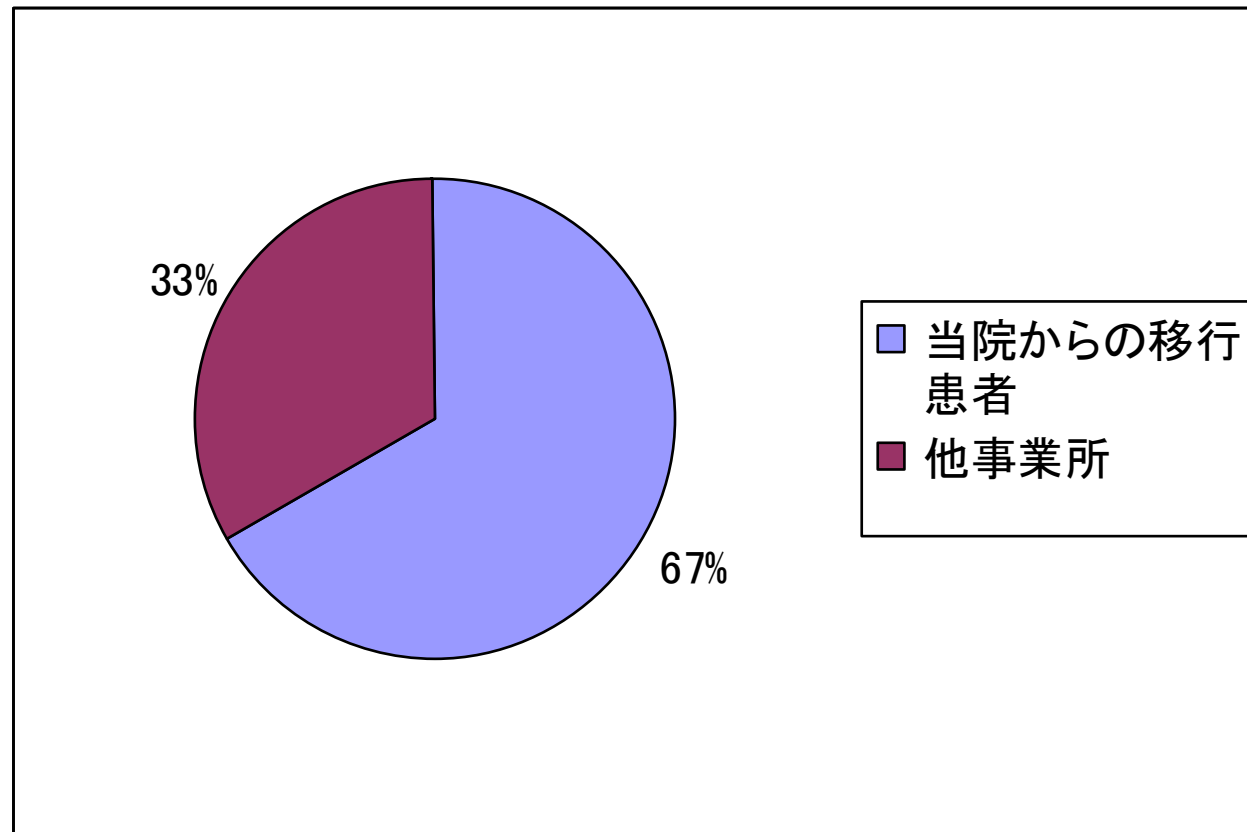
当事業所紹介

- PT3名 専属
- 登録件数 60～70名
- 延べ 約300件／月

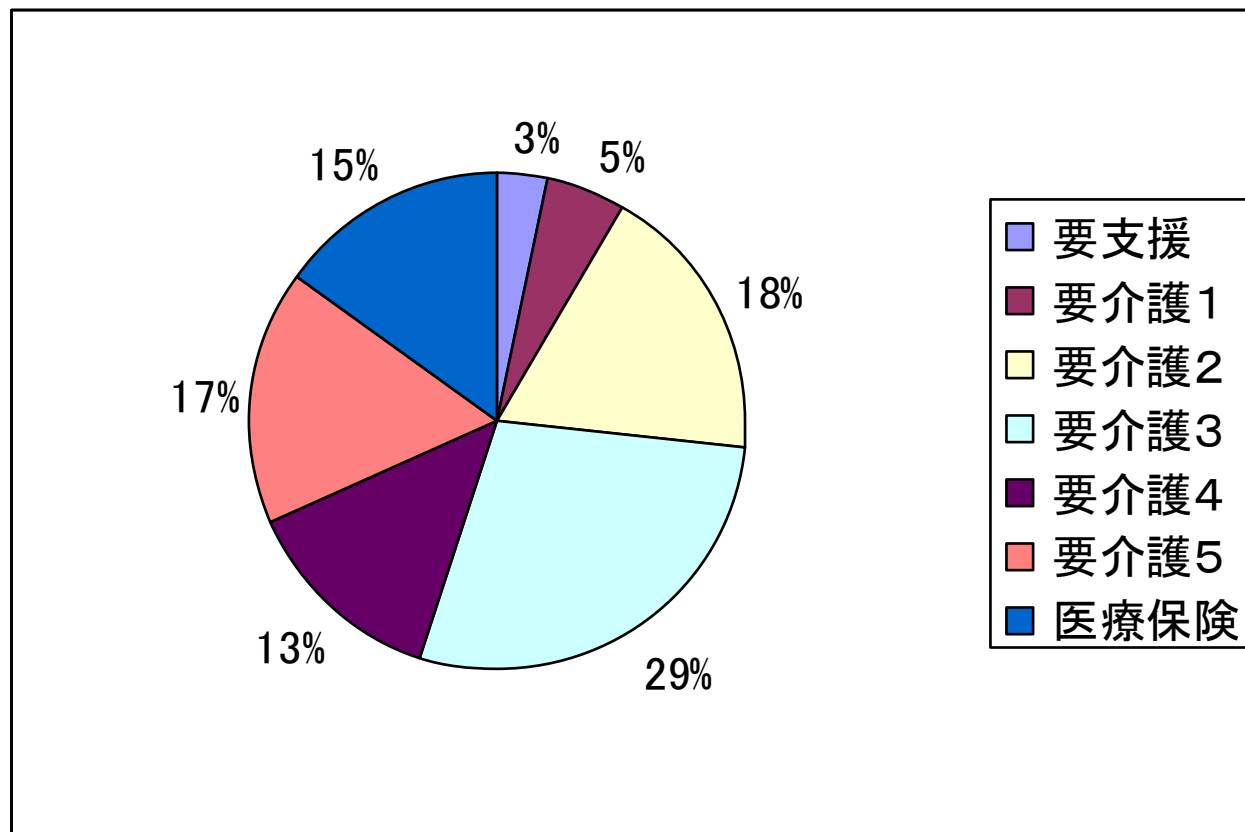
当院の訪問リハ患者内訳



当院からの移行患者様の割合



介護度別内訳



訪問リハスタッフの院内での活動

- 退院調整チームとの情報交換
- 各科カンファレンスへの参加
- 地域医療部との定期会議
- 訪問リハ患者の入院時の訪床
- 訪問リハ導入決定患者の退院前説明
- 主治医への情報提供

退院調整チーム

- 医師、Ns、MSW、PTにて構成
- 主な活動は在院日数短縮を目的とした各部門との橋渡し等
- 亜急性期病棟、地域連携パスの運用
- 介護保険申請代行
- 待機期間の確認

当院入院中の患者様へ

退院後すぐに療法士がうかがいます

八尾徳洲会総合病院

訪問リハビリテーション

退院後の自宅生活に不安を持たれている方・通院の困難な方・自宅での治療、訓練の継続を希望される方は是非ご相談ください。(介護保険・医療保険)

診療時間：要相談(地域によりご希望に添えない場合があります。)

地域：八尾市、東大阪市西部、平野区北部

(原則として当病院より半径4km以内)

TEL:072-993-8501

担当：理学療法士 堤 沙織

注：訪問リハビリテーションは医師の指示が必ず必要です。

事業所番号2715502601



院内訪問リハのメリット

- 在院日数の短縮⇒貢献度合いは？？？
- 各部門との情報の共有（電子カルテ）
- カンファレンスでの適応患者の抽出
- 指示書の受け渡しがスムーズ
- 入院時に説明できるため導入時の信頼関係が構築しやすい
- 院内で急性期治療の経験をしているスタッフが訪問するため緊急時の対応ができる。
- 併設介護支援センターとの情報交換がスムーズ

問題点・課題

- 病院内はスタッフが若く、介護保険等の知識に乏しい
- 在宅医療・訪問リハへの関心が薄い
⇒スタッフ教育の必要性
- 地域連携パスの充実
⇒回復期への待機を減少

回復期からの訪問リハを推し進めるのが理想的か？
・・・しかし

実際は・・・

- 急性期病院では理学療法実施患者の在宅への退院率が低く、回復期、老健等への転院が多い。
- 回復期病床の待機が多い。
 - ⇒地域連携パスが不十分
 - ⇒回復期病床が足りない
 - ⇒短期間での家庭環境の整備が困難

急性期病院での訪問リハの役割を考える

急性期病院の訪問リハの役割

- 亜急性期病棟の効率 ↑
⇒ 在院日数の短縮
- 入院時、再入院時の在宅復帰の環境整備、
主治医や退院調整チームへの情報提供
- 待機患者様の在宅復帰可能性の検討
- 急変時の再入院、受診の判断⇒訪問看護との連携

Overwork・Misuse

- 疼痛
- 筋攣縮
- 関節液貯留、関節拘縮
- 筋力低下、脱力、筋萎縮
- 麻痺の回復遅延、回復停止
- 痙縮の増大(まれに減弱)